

病児保育施設の実態

兵庫県

- 病児・病後児施設 31施設
- 受け入れ定員 134人

神戸市

- 病児・病後児施設 14施設
- 受け入れ定員 95人

兵庫県全体 45施設

定員合計 229人

2018.4.1 現在 兵庫県健康福祉部少子高齢局政策課より

兵庫県下 研修指定病院における 病児・病後児保育の有無のアンケート調査結果
県下48施設中45施設が回答 院内保育あり=43/45 (95%) 病児・病後児保育あり=16/45(35%)

病児保育事業のメリット

- 少子化社会対策への支援に繋がっている。
- 地域のニーズに応えることが出来ている。
- 近隣小児科医との連携が図れた。
- 小児科病棟を有しない病院で、病児・病後児保育を通して看護師の小児科実習を受け入れることが出来た。
- 神戸市の事業拡充による補助金の優遇が、経営的側面からも事業継続がしやすくなった。
- 病院だからできる 親と子へのトータルケアが可能となった。

ご家族からの意見

- 仕事が休みにくいので、病児保育があることが安心
- 仕事復帰の後押しになる
- 朝の診察があり、安心
- 兄弟でも可能なため助かる
- 連続預かりが可能になり助かっている
- 子どもの体調に合わせてきめ細かく配慮して頂けるので安心
- 年齢幅が広く助かる
- 病院内にあるので、安心
- 保育士さん達が優しく子供も数回利用すると慣れてきました

まとめ

- 病気の親子を受け入れ、精神的、身体的、社会的な支援を行うことが 病児・病後児保育が担うべき役割であり、究極の子育て支援である。
- 地域医療を担う当院が病児・病後児保育を通して、地域住民の暮らしを支えていく使命を担っている。